

★Excel の関数を使った統計計算の操作方法★

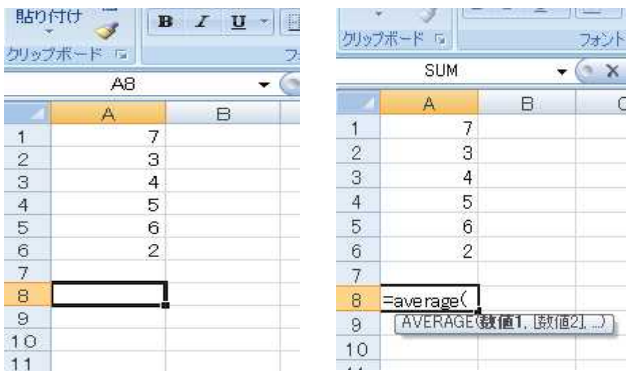
M.Kishi

* Excel の関数を使って計算する場合、いくつかの操作方法があります。配布した資料で示した、「数式→関数の挿入 fx」を使うと、操作が遅くなり、操作間違いも多くなります。以下の方法を勧めます。

* 以下の方法は2種類です。両者の違いは、統計計算をするデータの範囲を指定するとき、①キーボードから番地を直接入力するか、②矢印キー(→ ↓ ↑ ←)を使って指定するか、です。

(操作1: データと関数の入力)

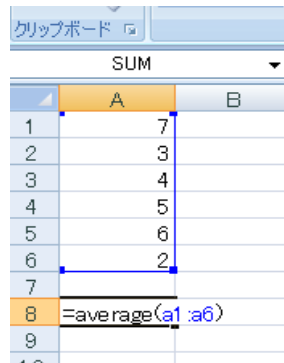
下の左図のようにデータを入力してください。そして、右図のように、A8のセルに=average(と入力(ただし、A8でなくてもよいのだが、とりあえず)。この操作は①、②とも同じです。文字はすべて半角、冒頭の=は、関数や数式であることを示す記号。



(操作2: データ範囲の指定)

①データ範囲を直接入力する

上の操作1で、=average(と入力したあと、キーボードからデータの範囲 a1:a6 (A1 から A6 までという意味)を入力し、閉じかっこ)を入力し、enter キーを押すと、A8に計算結果 4.5 が表示されます。:は「コロンの」です。; 「セミコロンと間違えないよう注意!



②データ範囲を矢印キーで指定する

操作1で、=average(と入力したら、そのままキーボードの上向き矢印(↑)を使って、カーソルをA6まで移動します。すると、右図のように、(の次にA6と表示されるはずですが、



次に、データの範囲を指定します。指定は、shift キーを押しながら上向き矢印(↑)を何度も押して、A1までカーソルを移動させます。すると右図のように、範囲が指定され、指定された部分が破線で示されます。



さらに、=average(の次に、A1:A6と表示されているはずですが、

上記のように表示されたら、閉じかっこ)を半角で入力し、enter キーを押すと、A8に計算結果 4.5 が表示されます。



他の関数の場合でも、基本的な操作手順は同じです。違うのは、関数で計算させるときのパラメータ

(計算を指定するときのオプションのようなもの)が違うのみです。どのようなパラメータが必要かは、関数のヘルプを参照してください。

※必ず練習して、できるようにしてください。